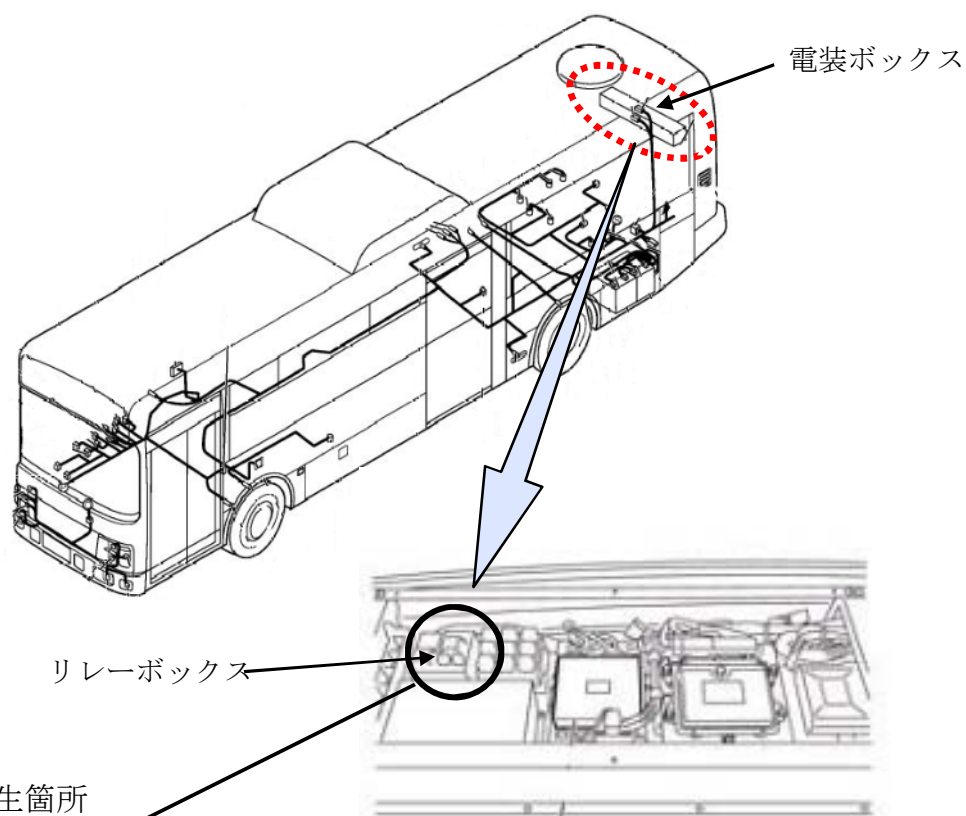
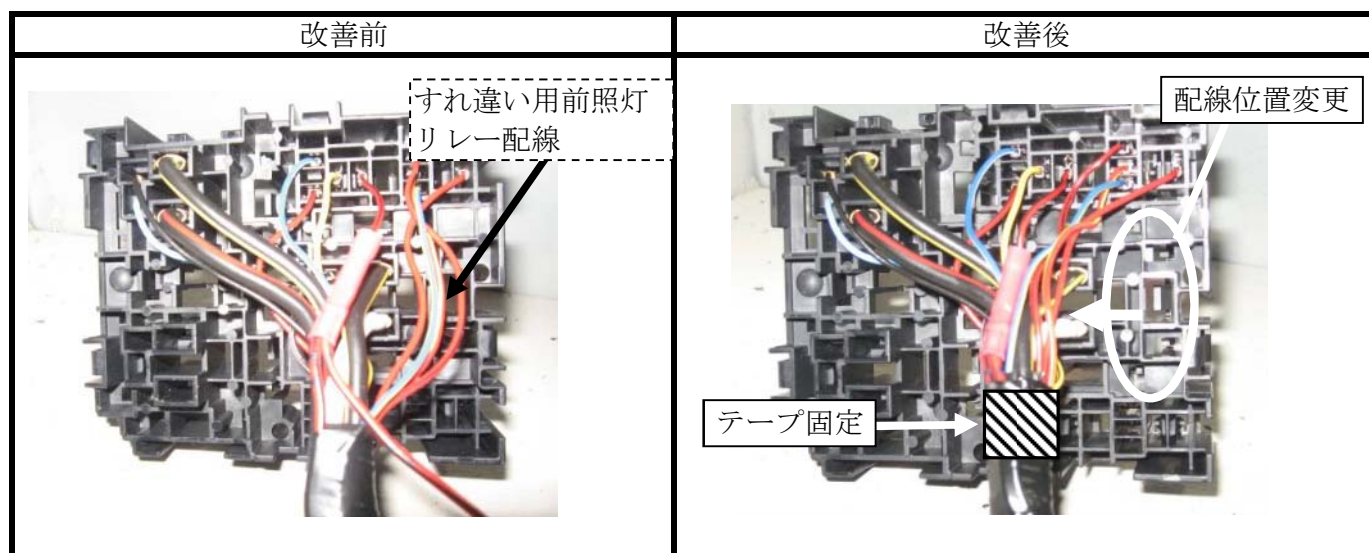


改善箇所説明図②



エンジン停止中に音声合成放送装置（行き先案内放送等）を作動させるため、アイドリングストップ装置のリレーボックスのリレー配線を変更した特別仕様の路線バスにおいて、変更後の復元作業が不適切なため、すれ違い用前照灯リレーの配線がリレーボックスに挟まれるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、配線がショートし、最悪の場合、すれ違い用前照灯が点灯しなくなるおそれがある。

リレーボックス（裏面）



改善の内容：

全車両、すれ違い用前照灯リレー配線を正規位置に配索し、テープで固定する。なお、配線に損傷が見られるものは、配線を修理する。

識別：運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレートに黄色シールを貼付する。

注： 内は追加・変更部品を示す。
 内は必要に応じ修理する部品を示す。